

“境川に沿う鎌倉古道と滝山道” の 謎を探る-その① ～長後 (ちょうご) 編～

- 日 時：2017年11月25日(土)
- 集 合：小田急江ノ島線「長後駅」改札口前 10:00
- 解 散：相鉄いずみ線「いずみ中央駅」
または 小田急線「長後駅」15:30頃
- 参加費 (資料代、保険料含む)：一般は1,000円/1人
団員700円 (団員家族は2人で1,000円)
- その他：飲料、雨具等、各自ご持参ください。

事前申込不要。
当日現地受付。

雨天の場合は基本的には中止。小雨の場合、実施することもあるのですが、当日の朝7時30分までに下記へお問合せ下さい。

(宮田)
090-7002-3431

【内容】多摩丘陵と関東山地の高尾山付近が接する相原・城山地域から、相模湾の「江ノ島」の脇まで52キロメートルの長さで流れる「境川」は、古代～中世の人々にとっては、長い間の海へ向かうための目印となってきました。この川の一部(相原～南町田)は武蔵国と相模国の国境にもなり、東京都と神奈川県との境界ともなっていますが、「鎌倉街道」の中の「山ノ道」もまたこの川に沿って藤沢市域まで続いていたことが知られています。しかし、もう一つ、戦国時代の重要な軍事用街道「滝山道」が境川右岸(西岸)にあったことは、ほとんど世に知られていません。

八王子の「滝山城」と、鎌倉市の「玉縄城」を結んだ小田原北条氏の軍事街道「滝山道」は、戦国時代の北条早雲に始まり、近世の家康側近・本多正信が玉縄城に入るまで、永い間使われた騎馬軍団も通った軍事戦略道と考えられます。

JR横浜線の淵野辺駅付近～相模大野駅付近～小田急江ノ島線の大和駅～長後駅(藤沢市)までを何回かに分けて探索しましょう。

第1回は長後付近です。



身近な歴史発見ウォーク (写真右は宮田講師)



【コース】都合により変更の場合有り

小田急江ノ島線「長後駅」改札口前に10:00集合～推定・滝山街道～長後天満宮(渋谷氏館跡伝説地)～大和市と藤沢市の境界・古代街道～国道467号線沿いの複数のファミレスで自由昼食(長後小学校の北側)～境川を渡り横浜市泉区上飯田の鎌倉道～藤沢市高倉の諏訪神社～長後街道高鎌橋～下飯田の鎌倉街道上ノ道～三柱神社(解散)。相鉄いずみ線「いずみ中央駅」または小田急線長後駅へ。約5キロM。解散は15:30頃。

